

名古屋大学≪工学研究科・教授≫公募要領

1	募 集 件 名	名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノ機械理工学専攻マイクロ・ナノ機械科学講座教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノ機械理工学専攻マイクロ・ナノ機械科学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） ・機械工学に立脚した学際領域において、科学技術イノベーションの創出を目指した学術領域の開拓、深化、発展をプロジェクト等で牽引できる方。機械工学の専門分野をベースとし、マイクロ・ナノの視点での新しい機械工学、特にマイクロ・ナノ分野における材料工学、表面工学、加工学、サステイナブル工学など幅広い領域で横断的、融合的に活躍できる方。産学連携研究を積極的に推進できる方。 担当講義科目： 機械工学の基礎的および専門的な学部科目（例えば、材料力学、材料強度学、材料科学、設計製図、加工学、電磁気学など）およびマイクロ・ナノ機械理工学分野に関連する大学院科目 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 教授・1名 [着任時期] 2026年 10月 1日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	工学
		小分類	機械工学
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・専門分野に顕著な研究業績があり、博士後期課程の学生の指導を担当できる方。	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。	

		https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	2025年8月1日 ～ 2025年10月31日
10	応募・選考 結果通知 連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書（写真貼付，連絡先として email アドレスを明記） 2. 研究業績リスト（〔Ⅰ〕著書，〔Ⅱ〕原著学術誌論文，〔Ⅲ〕国際会議論文，〔Ⅳ〕レビュー，社内技報などに分類）※責任著者（corresponding author）にアンダーラインを付すこと 3. 所属学会および社会における活動、国際的活動、招待講演・基調講演・特別講演 4. 主要原著学術誌論文の別刷10編以内（コピーも可） 5. 主要な研究業績3件とその内容（業績毎に1,000字以内） 6. 特許等とその内容 7. 受賞名とその内容 8. 最近10年間の科学研究費補助金・研究助成金等の代表者としての取得状況（企業の方はこれに代わるものの取得状況） 9. 教育・研究に対する抱負（それぞれ1,000字以内） 10. 当方から応募者に関するコメントを求め得る方3名（うち最低1名は外国人を含むこと）の連絡先 以上の書類を、応募期間内（必着）にEメールにて提出ください。 提出書類を一つのPDFにまとめて電子メール添付により送付してください（添付ファイルは20MBまで。電子メールでの送付が困難な場合には本学ファイルサーバーにアップロードしていただきますので、問い合わせ先までご連絡ください。アップロード用のURLをご連絡いたします）。PDFにはパスワードを設定し、パスワードは別途お知らせください。電子メールの件名は「マイクロ・ナノ機械理工学専攻教授応募（氏名）」としてください。なお、受取の確認メール（受領後1週間以内に発送）を必ずご確認ください。 提出先；koubo-zz@mae.nagoya-u.ac.jp 問合せ先：名古屋大学大学院工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻 星野 隆行 電話：052-789-5025
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類審査により候補者を選考し、面接を行います。選考結果は決定次第、通知します。 ・面接実施者については、メール等で通知を行う。
11	その他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでい

	ます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンターWeb サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging:DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法) に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。
--	---